

田仲つねお

(田仲常郎)

市政レポート

「大きな夢の挑戦者」
「小さな声の代弁者」



令和7年 新春号



今年に感謝
縁にありがとう

新年のご挨拶

昨年とは異様に能登で災害が発生し、3日には小倉魚町で火災。多くの方が被災され、日本中の方が胸を痛めました。

「あけましておめでとうございませう」この新年の挨拶が本当に有難い言葉だと感じ、平穩な日常こそが一番の幸せであることを実感した年明けでした。

令和6年は個人的には議会で大きな役割を任せられた一年でした。昨年を振り返り、令和7年にむけた抱負をお伝えします。

PROFILE

昭和41年3月20日生まれ(58歳)
緑ヶ丘第二幼稚園 則松小学校
昭和56年3月則松中学校卒業
昭和59年3月東海大学附属第五高等学校卒業
平成26年3月北九州市立大学地域創生学群地域創生学類卒業
平成21年2月北九州市議会議員(八幡西区)初選出
令和5年10月北九州市議会第24代議長 就任
現在に至る

<社会活動&現在の役職>

NPO則松金山川コスモス会 理事長
NPO病院前救護と健康管理研究会 理事
北九州市花咲く街かどづくり推進協議会 副会長
八幡西区花咲く街かどづくり推進協議会 会長
保護司
北九州なぎなた連盟 会長
八幡西区柔道連盟 理事
日本おもと協会東筑支部 相談役
北九州ヤング硬式野球倶楽部 顧問
自由ヶ丘ベースボールクラブ 顧問

1. はじめに

令和5年10月3日に第24代北九州市議会議長に就任しました。議長として、二元代表制の一翼で



議場での一幕

2. 年初の出来事

ある議会は、市長と独立・対等の関係であり、「北九州市を前に進めていく」という共通の目標に向かって、真摯に議論を積み重ねていくことが重要であるとの考えのもと、丁寧な議会運営を行ってまいりました。

元日から能登半島地震、1月3日には、鳥町食道街をはじめとする小倉魚町で火災が発生するなど、心の痛む出来事が続きました。被災された方々にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心からお祈りいたします。

3. 国際スポーツ大会

市内でのスポーツイベント、特に国際的なスポーツイベントが盛んな一年でした。6月の『パレーボール・ネーションズリーグ』、10月の『ツール・ド・九州小倉城クリテリウム』、11月の『パル



小倉魚町火災

4. 北九州市議会

市議会において、『道路・河川・公園等の除草費用を増額する組み替え動議』や、『予算案の編成過程における市民や議会への説明



小倉城クリテリウム

5. 議会改革

責任を果たすことなどを求める付帯決議、『子どもに係る予算の意義と必要性について慎重に検討するよう求めた付帯決議』などが可決されました。こうしたことは、市民の負託を受けた議会として、是々非々の立場で、真摯に議論を積み重ねていくという、二元代表制の本来あるべき姿であると思います。

①議員報酬の見直し

議会自身が議員報酬の削減について検討するべく、議会改革協議会を立ち上げ、公開の場で議論を行い、昨年7月から令和9年2月までの間、議員報酬を8%削減することを決定しました。削減効果額は約1億7千万円です。

②開かれた議会の実現

全ての常任委員会・特別委員会においてインターネット中継を開始しました。

また、9月議会からは、聴覚障害のある方が安心して傍聴いただけるよう、本会議場に大型モニターを設置し、A1を活用して、

③積極的な政策提案

『北九州市子ども基本条例』の制定にむけて、令和5年4月から検討を開始し、12月議会で制定に至りました。

議員提案による条例の制定は、「子どもを虐待から守る条例」以来、約6年ぶりとなります。

6. 令和7年度に向けて

下関北九州道路や東九州新幹線の整備など、本市のポテンシャルを活かすため、特に重要な事業について、引き続き執行部と一丸となって、国への要望活動などに取り組んでまいります。

田仲つねお

